



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2021年\)](#)

プレスリリース (2021年)

プレスリリースに掲載されている製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

2021年

2021年3月8日

導入事例

基幹システムの全面刷新で、多様な事業のデータ管理負荷を飛躍的に軽減

2021年3月8日

ソリューション

メディア業界向け財務・管理会計パッケージ「Fine@MEDIA II」新機能リリース

2021年2月26日

サービス

スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」新機能を提供開始

2021年2月19日

ソリューション

工場の生産順序計画を最適化するソリューションに操作性を向上する機能を追加

2021年2月19日

導入事例

メディア向け会計・人事給与システム「@MEDIA II」で、作業効率化と意識改革を実現

2021年2月16日

サービス

ソフトウェア構成管理ツール「Q's-Rook」に新機能を追加

2021年2月10日

イベント・セミナー

ものづくり（製造業）におけるテレワークの「新スタイル」セミナーを実施

2021年1月27日

サービス

新たなセンシングデバイスに対応した運行管理サービスの提供を開始

2021年1月27日

ソリューション

映像行動解析ソフトウェア「TrackingEye」の機能を強化し、販売開始

プレスリリース（年別）

- プレスリリース（2021年）
- プレスリリース（2020年）
- プレスリリース（2019年）
- プレスリリース（2018年）
- プレスリリース（2017年）

- [プレスリリース（2016年）](#)
- [プレスリリース（2015年）](#)
- [プレスリリース（2014年）](#)
- [プレスリリース（2013年）](#)
- [プレスリリース（2012年）](#)
- [プレスリリース（2011年）](#)
- [プレスリリース（2010年）](#)
- [プレスリリース（2009年）](#)

プレスリリース（カテゴリ別）

- [プレスリリース（経営・人事）](#)
- [プレスリリース（ソリューション・サービス）](#)
- [プレスリリース（導入事例）](#)
- [プレスリリース（イベント・セミナー）](#)

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2021年) >

基幹システムの全面刷新で、多様な事業のデータ管理負荷を飛躍的に軽減

PRESS RELEASE

2021年3月8日

株式会社富士通九州システムズ

基幹システムの全面刷新で、多様な事業のデータ 管理負荷を飛躍的に軽減

～情報の集約により、業務改善と経営戦略の構築に～

1916年の創業以来、国内産業の発展に深く関わってきた三島光産株式会社では、「工程請負事業」、「自社製品事業」、「エンジニアリング事業」という3つの事業を展開しています。基幹システムの全面刷新において、当社が提供するプロジェクト管理ソリューション

「QsConnect プロジェクト管理」を導入。事業形態が大きく異なる3事業の業務データ一元管理、システムオペレーションの簡略化や少人数化などに高い効果を発揮し、さらに、より緻密な中長期ビジョンの構築、全社的な業務改善といった相乗効果も生まれています。

背景と導入効果

三島光産では形態が大幅に異なる3事業を展開しており、各事業部門が独自の業務管理を行っていたため、各種データの一元管理を行うことが困難でした。また、以前の基幹システムは汎用機時代に構築されたシステムの考え方がベースとなっていたためバッチ処理が多く、業務知識や基幹システムを熟知した担当者による属人化されたオペレーションが必要である点にも課題を抱えていました。

基幹システムの刷新にあたり「QsConnectプロジェクト管理」を導入し、業務データの一元管理を実現。3事業の特性に応じたカスタマイズを加えて、各事業部における業務効率化を図り、さらに、異なるデータベースに存在していた受注、売上、購買といった各種情報がタイムリーに共有化されたことで、決算関連業務負荷の大幅な軽減にもつながりました。

システムオペレーションの属人化解消という課題においては、旧システムに比べてオペレーションの作業数が1/6に減少（60オペレーションから10オペレーション）。マニュアルに沿った作業を行うことで、経験の浅い若手社員でも扱うことができます。

「QsConnectプロジェクト管理」で受注～調達～会計といった基幹システムの主要機能をシームレスにつなげば、本社がダイレクトにデータを参照することが可能。以前であれば、売上が上がるまで数字がはっきりしない、見込みがどうなのか知りたくても、本社ですぐに確認できないといった状況に陥っていましたが、データの一元管理によって社内のリソースを有効活用し、緻密な中長期戦略を構築できるようにもなっています。

今後の展開

三島光産では新システムの稼働に合わせて、間接業務の改善プロジェクトが始動。受注情報や原価情報など「QsConnectプロジェクト管理」で得られた情報を活用し、管理資料作成の手間を省くことで、本来の管理業務に注力できる体制を整えるなど、さまざまな業務改善に取り組んでいる最中です。

また、業務運用を見直すためのツールとしても「QsConnectプロジェクト管理」の活用を考えており、既に帳票の削減、紙による保管資料の削減といった成果が生まれています。

導入製品の特長

統合業務ソリューション GLOVIAを基盤としたライブラリ素材提供型のプロジェクト管理ソリューションです。全業務データを統合データベース上で管理するため、業務間のスムーズな情報連動を実現。GLOVIAとのシングルサインオン、マスターの一元管理も行えます。また、要望に応じた必要なライブラリのみを選択することで、開発コストの低減を実現。ライブラリ素材提供型のため短期間で導入することができます。

製造・工事・複合事業にフィットしたテンプレートを提供し、各業種に適した情報管理ができる点も特長です。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

関連リンク

- 三島光産株式会社様 導入事例
- QsConnect プロジェクト管理

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

産業流通ソリューション本部 製造・ERPソリューション部 担当:武田



092-707-5638

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2021年) >

メディア業界向け財務・管理会計パッケージ「Fine@MEDIA II」新機能リリース

PRESS RELEASE

2021年3月8日

株式会社富士通九州システムズ

メディア業界向け財務・管理会計パッケージ 「Fine@MEDIA II」新機能リリース ～改正電子帳簿保存法の対応を見据えた電子回送の実現～

当社は、メディア業界の財務・管理会計業務に特化したパッケージシステム

「Fine@MEDIA II」において、令和3年度の改正電子帳簿保存法への対応を見据え、機能を追加いたします。

新機能により、電子化した証憑データを使用して伝票申請ができ、伝票業務が目的での出社が不要になります。また、領収書など証憑原紙のファイル保存が不要ですので、保管コストの削減が見込まれます。申請時は、承認者に自動でメール発信されるため、回送滞留による締め作業への影響も回避できます。

当社は、これからもお客様のニーズに合わせた柔軟な働き方をご支援いたします。

新機能の特長

1. 証憑データ添付

スマートデバイスやスキャナで電子化した証憑データを伝票申請明細単位に添付できます。
また、証憑データはデータベースに保存されるため改ざんを防止できます。

2. 伝票チェック業務支援

入力された伝票データと証憑データは画面に並べて確認でき、証憑データの拡大表示にも対応しており、チェック時の視認性を高めています。

3. 証憑原紙の使いまわし防止

伝票データ保存時に同じ証憑データがシステム上に存在していないかをチェックします。
証憑データの使いまわしなどの不正を抑止します。

機能提供予定

Fine@MEDIA II

2021年6月から標準機能として提供を開始します。

Fine@MEDIA

ご使用のシステムに個別に導入します。価格は別途お問い合わせください。

Fine@ONAIR

同 上

電子帳簿保存法について

現在の電子帳簿保存法への対応を希望される場合は、別途お問い合わせください。

@MEDIA II 動作環境

APサーバ／DBサーバ

Microsoft® Windows® Server 2016以上
クライアント
Microsoft® Windows® 10が動作するPC/AT互換機
ブラウザ
GoogleChrome76（推奨）、Microsoft Edge44、InternetExplorer11
データベース
EDB Postgres11.4
提供形態
自社導入（オンプレミス）、クラウドセンター利用（PaaSサービス）

関連リンク

➤ [メディア業界向けソリューション](#)

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第三社会基盤ソリューション部 放送グループ



092-260-6217

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース (2021年) >
スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」新機能を提供開始

PRESS RELEASE

2021年2月26日

株式会社富士通九州システムズ

スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス 「スマホdeコーチ」新機能を提供開始

当社は、スポーツスクール事業者様向けクラウドサービス「スマホdeコーチ」に新しい機能を追加し、2021年3月1日（月曜日）から提供を開始します。

お客様のニーズに応じて、レッスンの振替手続きができる機能および次年度の更新手続きやクラスの変更などができる機能を追加することで、スクール生ならびにスクール運営者の満足度向上に貢献します。

製品名

- スマホdeコーチ（すまほ で こーち）

新機能

1. 振替手続き

スクール生は、欠席したレッスンの振替依頼をスマホdeコーチからできます。
スクール生自身がレッスンを選択することで、スクール側の負担を軽減します。

2. 更新手続き

次年度の更新手続きについて、新クラスへの継続、クラスの変更、退会がスマホdeコーチから実施できます。継続は、ボタン1つで、クラスの変更は、第三希望まで選択可能です。

更新手続きと同時にスクール生情報（連絡先、学校等）の変更やスクール規約への同意手続きも行うことができます。

提供時期

- 2021年3月1日（月曜日）から

販売価格

- 個別見積り

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。


関連リンク

- [スマホdeコーチ](#)

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

セキュリティ & ソーシングソリューション本部
ソーシングソリューション部

 097-534-9413

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

スマホdeコーチに関するお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2021年） >

工場の生産順序計画を最適化するソリューションに操作性を向上する機能を追加

PRESS RELEASE

2021年2月19日

株式会社富士通九州システムズ

工場の生産順序計画を最適化するソリューション に操作性を向上する機能を追加

～製造業のDXを加速し、お客様のものづくり力強化に貢献～

当社は、生産順序計画の最適化を行う「FUJITSU Manufacturing Industry Solution COLMINA Sequence Planning Optimization（以下COLMINA SPO）」^{（注1）}に、UX（ユーザ・エクスペリエンス）向上につながる機能を追加し、2021年3月から販売予定です。

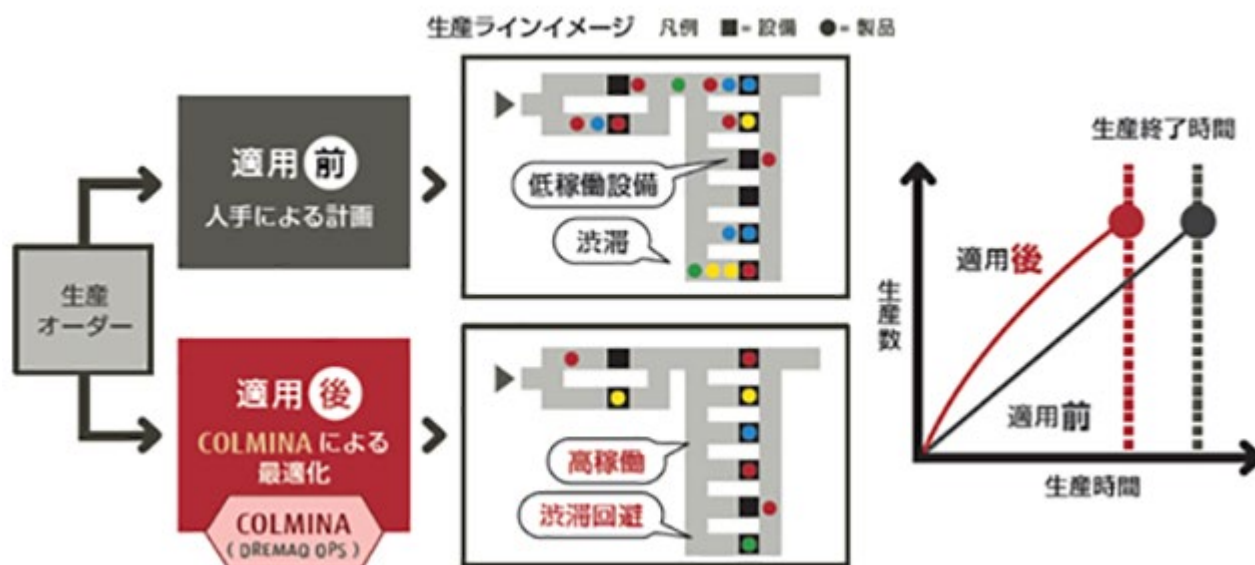
本製品は、生産の初期計画や再計画の際に、最適化エンジン「OPTEMILIS（オプティマイリス）」^{（注2）}により生産順序を自動で並べ替え、生産リードタイム・稼働率・段替回数などを多目的に最適化します。UX向上の実現により、製造業のDX加速に貢献します。

製造現場では、市場の多品種少量生産のニーズ、人手不足や働き方改革による労働時間の制約に対応するため、より一層の生産性の向上が求められています。当社は、お客様のスマートファクトリーの実現に貢献するソリューションとして、生産順序を複数の目的（指標）に対し最適化することで、生産性の高い計画策定を支援するCOLMINA SPOを提供しています。

現在、COLMINA SPOのシミュレーションに必要な入力データ設定および出力部分は、Excel VBAやcsvデータを使うことから、操作性や表現力に課題がありました。その解決策として、当社COLMINA SPO

は に入力データを設定する作業を効率的に、かつ結果を視覚的に確認できるユーザーインターフェイス機能を追加し、操作性や表現力を向上させることでお客様の生産順序計画策定のリードタイムの短縮を図ります。

生産ラインイメージ



エンハンス機能の特徴

1. 操作性の良いデータインプット機能

COLMINA SPOのクライアントツールで、シミュレーションに必要な工場レイアウト情報や制約条件をプログラミングなしで直感的に設定できます。

2. 表現力の高いデータアウトプット機能

COLMINA SPOのクライアントツールで、シミュレーション結果を基にパレート図やガントチャートなど視覚的にデータを可視化できます。

3. 生産シミュレーション機能強化

お客様の声から主に下記機能を強化しました。

- 分岐機能拡張：単一条件分岐から最大10個の条件を考慮した複数条件による分岐が可能
- バッファ機能拡張：工程間にモノを溜める機能に加え、意図的に一定量溜める機能を追加
- 多台持ち機能拡張：これまでの固定順序に加え、優先度など複数条件の設定が可能

当社は、ものづくり事業ブランドCOLMINAのミッション「製造業のDX実現を支えるサービスを、グローバルにオープンに迅速に提供することを通じて、ものづくりにイノベーションをもたらす」のも

と、製造業のお客様のDXを支え、新しい価値創造および競争力強化を支援していきます。

関連リンク

- > COLMINA SPO[®]
(富士通のサイト)
- > ものづくりデジタルプレイスCOLMINA[®]
(富士通のサイト)

注釈

注1 COLMINA SPO:
当社が開発、富士通株式会社が販売

注2 OPTEMILIS (オプティマイリス):
株式会社富士通研究所が開発した計画最適化エンジンで、生産現場の稼働実績からモデル化し、装置故障などの突発事象が発生したときに、即座にシミュレーションを行い、ヒト・モノ・装置の最適オペレーション計画を提供。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部 デジタルシミュレーション部



092-260-6225

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

COLMINA SPOに関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2021年）](#) >

[メディア向け会計・人事給与システム「@MEDIA II」で、作業効率化と意識改革を実現](#)

PRESS RELEASE

2021年2月19日

株式会社富士通九州システムズ

メディア向け会計・人事給与システム 「@MEDIA II」で、作業効率化と意識改革を実現

発行部数約18万部、県内世帯普及率6割を占める日刊紙「福井新聞」を発行する福井新聞社。旧会計・人事給与システムの老朽化による不具合を解消すべく、当社のメディア業界向け財務・管理会計、人事・給与パッケージ「@MEDIA II」を導入しました。「@MEDIA II」の導入により操作や運用面における作業効率化を実現するとともに、勤務システムの入力を管理職から社員各自がおこなうことで、社員の仕事に対する意識改革にも変化を生み出しています。

背景と導入効果

福井新聞社では、旧会計・人事給与部門のシステムが稼働後10年以上経過し、最新の情報通信技術を使って今後長く安定して使用できるシステムへの移行が求められていました。会計部門からは大幅に変わることより安定してそのまま使えることとグループ会社との共同利用ができること、人事労務部門からは働き方改革関連法を踏まえ、労働時間の適正把握に向けた対応や管理職の負担軽減を希望され、関連会社との共同利用ができる機能や長時間労働是正アラートが搭載されている「@MEDIA II」をベースとした新システムへの移行・切替を進めました。

コロナ禍の中でしたが、リモートを活用してコミュニケーションを取りながら予定通りのスケジュールで新システムへの移行を実現。関連会社との共同利用もスムーズに開始でき、業務の統一や管理業務の効率化を進めることができました。また、これまで各部署の管理職が担っていた勤務入力もシステムの導入を機に社員各自が入力する形に変更したことで、管理職の業務負担が軽減されマネジメント業務に注力できるようになりました。新システム導入によって“見える化”が図られ、社員と管理職が勤務の状況を共有できるようになったことが最も大きな成果と言えます。

今後は、個々の意識変化が各部署内の業務効率化やよりよい働き方の実現へつながっていくことも期待されています。

今後の展開

「@MEDIA II」を導入し、スムーズに社員への定着化が進む中、今後はさらなるシステムの活用にも期待がかかります。まずは、新システムの機能を十分に活用し、業務効率化・省力化の促進を目指しつつ、将来的には広告システムや販売システムなど他システムとの連携も視野に入れた対応を進めていく予定です。また、伝票の電子ワークフロー化やテレワークの推進に対応したシステムなど、時代の変化に即した取り組みも検討していきます。

導入製品の特長

メディア業界向け財務・管理会計ソリューション「Fine@MEDIA II」は、放送局や新聞社固有のニーズや慣習に対応した様々な機能を搭載しています。処理自動化技術により、会計伝票作成業務を約30%削減するなど、画期的な機能を標準搭載しています。また、メディア業界向け人事・給与ソリューション「Hour@MEDIA II」は様々な勤務形態に対応しており、労務管理機能が勤怠を自動監視することで働き方改革を強力にサポートします。さらにどちらの製品も関連会社とのシェアード利用により、管理業務統一化を推進します。

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

関連リンク

- 福井新聞社様 導入事例
- メディア業界向けソリューション

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第三社会基盤ソリューション部 放送グループ



092-260-6217

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2021年） >

ソフトウェア構成管理ツール「Q's-Rook」に新機能を追加

PRESS RELEASE

2021年2月16日

株式会社富士通九州システムズ

ソフトウェア構成管理ツール「Q's-Rook」に新機能を追加

～資産情報の自動登録により、作業品質向上に貢献～

当社は、ソフトウェア構成管理ツール「Q's-Rook」に新機能を追加します。「Q's-Rook」は、開発資産（ソース・モジュール・設計書）を一元管理する仕組みです。

このたび、開発資産の資産情報を自動収集する機能および資産情報の追加情報を画面から更新する機能を追加しました。

資産情報の収集と更新の自動化により、構成管理にかかる作業負担を軽減し、効率化することで、お客様のシステム開発スピードの向上に寄与してまいります。

製品名

- Q's-Rook（キューズルーク）

新機能

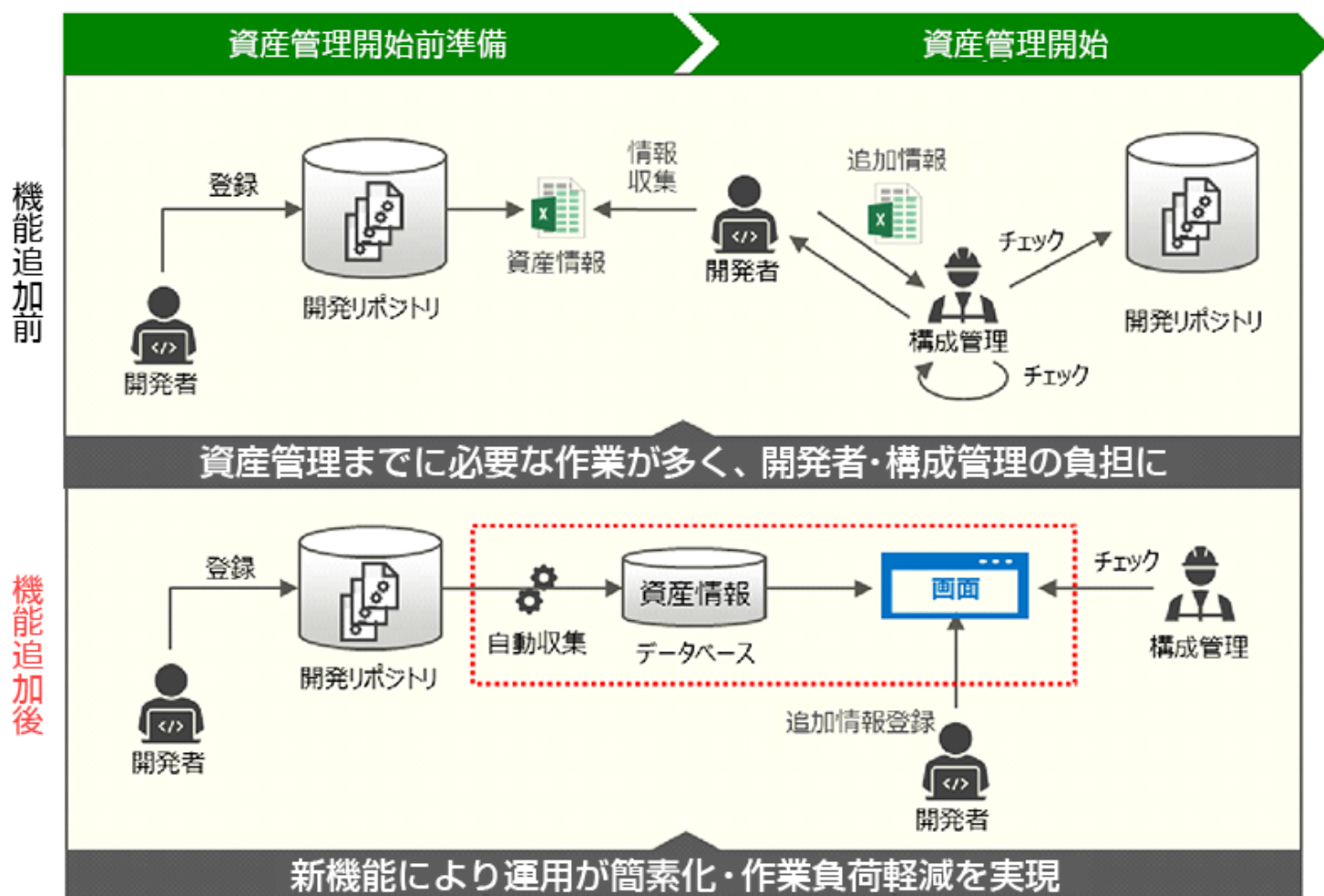
1. 開発資産の資産情報を自動収集する機能

管理資産情報を自動収集するため、資産情報の収集もれが防げ、資産管理作業の作業品質が向上します。

2. 資産情報の追加情報を画面から更新する機能

資産管理開始の作業を削減し、開始までの期間を短縮できます。

新機能イメージ




商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

社会ソリューション本部 第二社会基盤ソリューション部

 03-6424-9769

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

 [入力フォーム](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)



[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース（2021年）](#) >

[ものづくり（製造業）におけるテレワークの「新スタイル」セミナーを実施](#)

PRESS RELEASE

2021年2月10日

株式会社富士通九州システムズ

ものづくり（製造業）におけるテレワークの「新スタイル」セミナーを実施 ～ニューノーマル時代のものづくりDXを支援～

当社は、ものづくり現場における設計業務を起点としたテレワークを推進するために、設計データの電子化および運用に関するセミナーを開催いたします。

手順書の電子化による効果や実現方法、技術情報の電子化による一元管理で他部門とリアルタイムで情報共有し業務効率化する方法をご紹介します。

是非この機会にご参加いただき、設計および生産業務効率化のご参考にしていただければと存じます。

エンジニアリングDXセミナー（オンライン開催）

- 開催日時：2021年2月25日（木曜日）13時30分～15時10分（接続開始 13時）

- 対象：設計業務の図面・技術文書の電子化および運用にご興味のある設計者
- 内容：設計業務を起点とするテレワークの「新スタイル」のご紹介
 1. 手順書の電子化、自動作成ツール
組み立て手順書を電子化する効果やその実現方法をご紹介します。
 2. 図面・技術文書の共有ツール
技術情報を電子化および一元管理することによる他部門とのリアルタイムな情報共有と業務効率化を実現する方法をご紹介します。
- 主催：株式会社富士通九州システムズ

参加費

- 無料

お申し込み

本セミナーは、予約制です。参加を希望される場合は、WEBサイトからお申込みください。

➤ エンジニアリングDXセミナー

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

エンジニアリングソリューション本部
エンジニアリングDX推進部



092-260-6229

受付時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

メールでのお問い合わせ

PLMソリューションに関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

コンテンツ利用条件

個人情報保護ポリシーについて

商標について

お問い合わせ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2021年） >

新たなセンシングデバイスに対応した運行管理サービスの提供を開始

PRESS RELEASE

2021年1月27日

株式会社富士通九州システムズ

新たなセンシングデバイスに対応した運行管理サービスの提供を開始 ～輸送品質の向上と商品事故の防止を実現～

当社は、「SaaS型運行管理システム Logifit TM-NexTR（ロジフィット ティーエム ネクストラ）」^{（注1）}に、株式会社ティアンドデイ様製の温度センサーやピーアイシステム株式会社様製のマルチセンシングロガーといった新たなセンシングデバイスとの連携をおこない、2021年6月から提供予定です。

本サービスは、医薬品（ワクチン等）や食品等を搬送するお客様を主たる対象とし、センシングデータを活用し、輸送状態の管理を行うことで、輸送品質の向上や商品事故の防止を実現します。

注1 当社が開発、富士通株式会社が販売



温度センサー



マルチセンシングロガー

当社は、配送や営業の効率改善や経費削減など、さまざまな課題を総合的に解決するSaaS型運行管理システムを提供しています。

このたび、温度センサーやマルチセンシングロガー（注2）と「Logifit TM-NexTR」を連携し、輸送状態の管理を行うことで、輸送品質の向上を図り、商品事故の防止を実現する本サービスを提供します。

注2 温度、湿度、照度などが計測可能な機器

サービスの特長

1. 連携デバイスのラインアップ追加

温度センサーやマルチセンシングロガーと連携することにより、医薬品（ワクチン等）、食品卸売業等、お客様の用途に応じたデバイスの選択が可能となります。

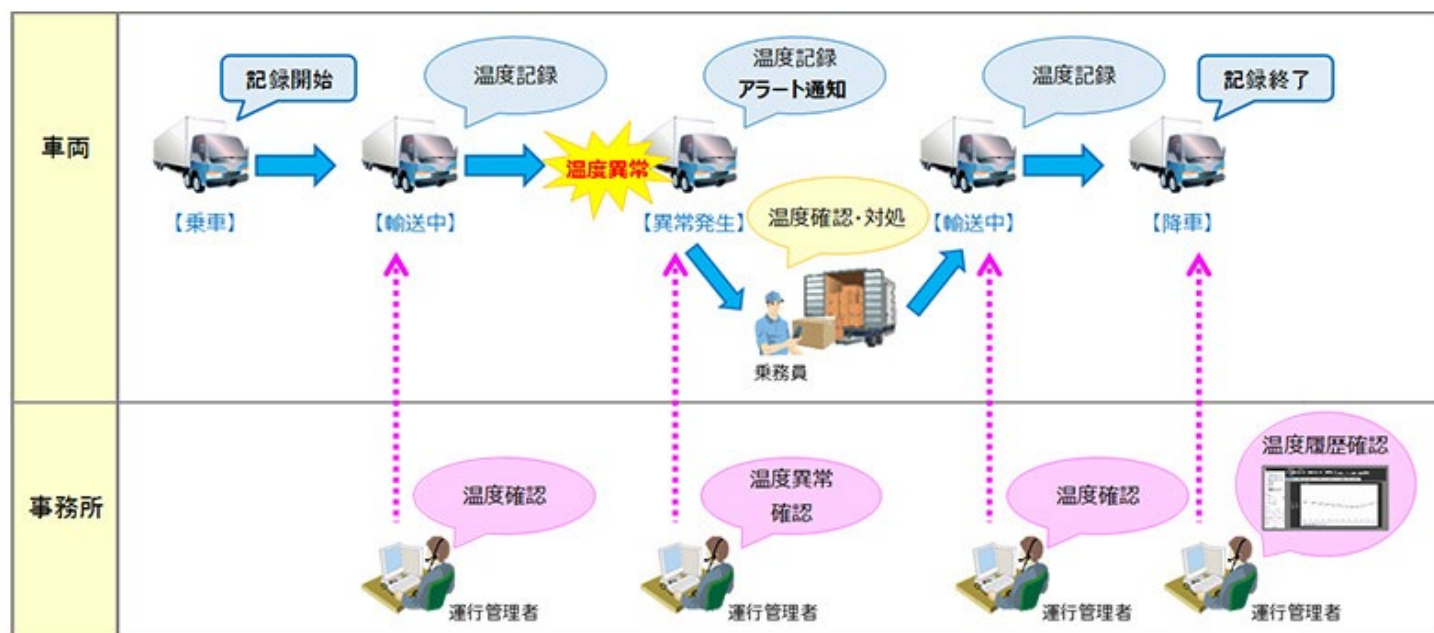
2. 輸送品質の向上（特許出願済）

センシングデータを活用し、輸送状態の管理および荷主からの温度履歴の開示要求などへの対応も可能となります。

3. 商品事故の防止

温度異常発生時にアラート通知を行うことで、乗務員がいち早く異常に気付き、素早く対処することが可能となります。

温度管理イメージ



動作環境

クライアント

Microsoft® Windows® 8.1 / 10

Webブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11.0 / Microsoft Edge (Ver 38.14393.67.0)

インストールが必要なソフトウェア

.NET Framework 3.5 および .NET Framework 4.5, Windows Media Player, Adobe Reader

関連リンク

- > 「SaaS型運行管理システム Logifit TM-NexTR」
- > 「株式会社ティアンドデイ」企業情報サイト
- > 「ピーアイシステム株式会社」会社概要サイト

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ

富士通コンタクトライン総合窓口



0120-933-200

受付時間 9時～17時30分（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

Webでのお問い合わせ

ロジスティクスソリューションに関する



入力フォーム 

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > お知らせ > プレスリリース > プレスリリース（2021年） >

映像行動解析ソフトウェア「TrackingEye」の機能を強化し、販売開始

PRESS RELEASE

2021年1月27日

株式会社富士通九州システムズ

映像行動解析ソフトウェア「TrackingEye」の機能を強化し、販売開始 ～人と車両の侵入を検知・警告する機能を追加～

当社は、カメラ画像に映った人やモノの動きを認識し、数や滞留時間、軌跡をデータとして見える化する「FUJITSU Software Imagepower TrackingEye」に、人と車両の侵入を検知し警告する機能を追加しました。

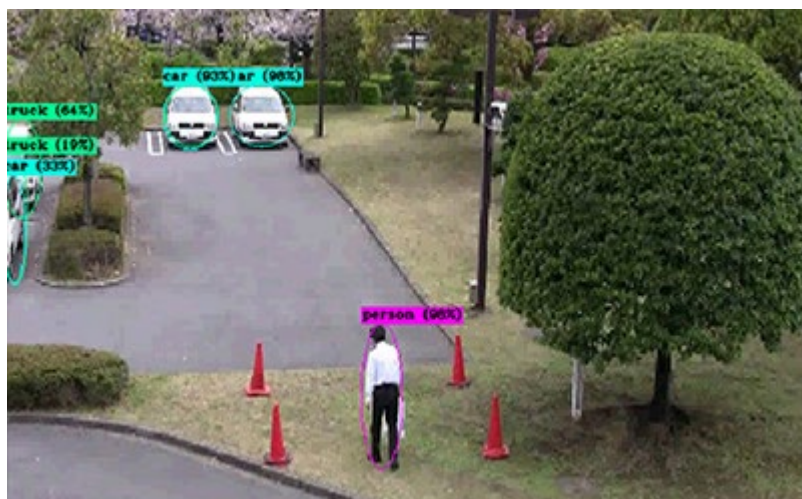
広大な敷地をもつ施設や無人施設に監視カメラを設置した場合、人手に頼る常時監視は負荷が高く、1人で監視できるカメラ数にも限界があります。侵入検知機能を活用することにより、検知した時点の画像の記録やメールによる通知、音やパトランプとの連動を行うことができ、監視員の負荷が軽減されると同時により少人数での業務遂行が可能になります。

当社は、「FUJITSU Software Imagepower TrackingEye」を2014年から販売しています。

設備や技術の高度化に伴い工場や店舗の無人化が進む一方で、その安全管理は今後ますます求められます。こうした動向を背景にTrackingEye V2では、無人施設や広大な敷地など人の目が行き届かない場所において人や車両の侵入を検知する『侵入検知機能』を新たに搭載しました。

今回の機能追加によりお客様の現場業務における安全性と安心感がさらに向上することを目指します。

侵入検知イメージ



販売価格、および出荷時期

種別	価格（税抜） ^{*1}	出荷時期
メディアパック ^{*2}	1万円	2021年1月下旬から
ライセンス ^{*3}	1ライセンス 150万円	

^{*1} 価格には、ネットワークカメラやパソコンなど機器の価格は含まれません。

^{*2} 製品購入の際は、「メディアパック」と呼ばれるインストール媒体のみの商品が必要です。また製品の使用权は

- メディアパックに付属しておりませんので、ライセンス商品をあわせて購入してください。
- *3 ライセンスは買い切りです。インストール先のコンピュータ台数分の購入が必要です。侵入検知機能は1ライセンスでカメラ2台まで利用可能。その他の機能はカメラ4台まで利用可能。

販売目標

- 国内において今後3年間で、100システムの販売を計画。

本機能の特長

- 既設の監視カメラ映像が利用可能
TrackingEyeは、専用カメラや内蔵カメラを必要としません。
そのため導入に際しては、お客様の業務に適したカメラを選定していただくことができます。
- 検知精度向上の仕組みを導入（特許出願済）
侵入検知機能では、対象カメラで人を撮影するだけで人と車両のサイズを自動設定することができます。サイズを事前に設定することで対象を絞り込んだ精度の良い検知が可能になります。
- TrackingEye V1の機能を継承
TrackingEye V2では、TrackingEye V1の「動体カウント」や「滞留時間計測」の各種機能を引き続き提供します。V1から継承した機能を活用することにより、さらに実効性のある侵入対策を検討することもできます。

動作環境

機器	仕様	
検知PC	OS	Microsoft Windows 10（64ビット版）
	CPU	Core i7 3GHz以上
	メモリ	8GB以上

	HDD	500GB以上
	GPU	CUDAコア1000基以上、メモリ4GB以上
カメラ	HTTP対応IPカメラ、ONVIF準拠、VGA以上の解像度	

関連リンク

- 映像行動解析ソフトウェア TrackingEye（トラッキングアイ）

商標について

- 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

メールでのお問い合わせ

TrackingEyeに関するお問い合わせ



入力フォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[コンテンツ利用条件](#)

[個人情報保護ポリシーについて](#)

[商標について](#)

[お問い合わせ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU